

まちな話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(企画情報課 TEL45-9110)



▲三宅区の六斎念仏



▶瓜生区の六斎念仏



太鼓と鉦の音が聞こえます (8/13 ~ 15)

瓜生区と三宅区で、六斎念仏が行われました。
六斎念仏とは、踊り念仏の一種で、鉦を打ち、
唱える念仏に合わせて、手に持った太鼓を叩きな
がら各家を回るもので、国の選択無形民俗文化財
となっています。

瓜生区と三宅区では、子どもらが太鼓を手に一
軒一軒まわり、家の前や中で、鉦の音に合わせて
子どもらが踊りだすと、家の人は手を合わせて、
先祖を供養していました。

夕暮れから始まった六斎念仏は、太鼓と鉦の音
が、夜遅くまで集落内に響いていました。



陶の優しい灯り (8/13 ~ 15)

熊川宿で、陶器の灯ろうを街道沿いに並べて、
明かりをともし、「街かど陶の灯り展」が行われま
した。

この催しは、「若狭熊川宿まちづくり特別委員会」
と「熊川宿おもてなしの会」、パレア若狭陶芸教室
の「どろんこ会」が、熊川宿の活性化を図ろうと
初めて開催したものです。

約 50 個の灯ろうから漏れるやわらかく優しい灯
りが、幻想的な雰囲気を出しており、訪れた
来場者は、昼間とは違う熊川宿を楽しみました。



▲優しい灯ろうの明かりが熊川宿を照らしました



▲三方中学校と上中中学校、
大谷中学校による合同演奏



響きがつなく仲間たち (8/21)

三方中学校、上中中学校、美方高校と、京都府
の大谷中学校、大谷高校の吹奏楽部によるジョイ
ントコンサート「若狭プラスフェスタ 2011」がパ
レア若狭で開催されました。

コンサートは、5 校の吹奏楽部約 210 人が出演し、
各校のステージに加え合同演奏があり、最後には、
全員が出演して「ハナミズキ」を合唱しました。

練習やりハーサルとは違う緊張感の中、生徒ら
の息の合った演奏や澄んだ歌声に、訪れた観客か
らは大きな拍手が送られました。



◀工場内を見学
する生徒



▲企業の説明を受ける生徒



知っとく乗っとくバスツアー (8/25)

町内の企業を見学する「知っとく乗っとくバスツアー」が行われました。

このツアーは、町の人口の減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図るための“次世代の定住促進”を目的として、未来を担う若者たちに町内事業所の理解を深めてもらうために行われました。

この日参加した38人の町内中学生は、企業4社を2班に分かれて、それぞれ2社を見学しました。

生徒らは、身近な工場に最先端技術があることを知り、驚きつつも興味を抱いたようでした。



ナンでカレーを食べよう (8/27)

パレア若狭で、「親子ふれあい料理教室」が行われました。

料理教室では、^{やちた}谷地田美由紀さん（新道）を講師に迎え、ヒヨコ豆を使ったカレーと、インドの代表的なパン「ナン」を親子で作りました。

講師の谷地田さんは、「豆を使うことで、肉を使わなくてもたんぱく質が摂れ、かつヘルシーに出来上がる。また、ヒヨコ豆だと、ホクホク感が出て一層美味しくなる」と話していました。

料理が出来上がると、みんなで「ナマステ」と、インド式で「いただきます」をして試食しました。

参加者は、「ナンが美味しい」、「カレーにつけるとすごく美味しい」と絶賛していました。



◀どう？
もう焼けたかな？



▲ヒヨコ豆のカレーとナンの出来上がり



◀ヨーヨーすくい
やたこ焼きなど
多くの出店が並
び賑う



▲盆踊りを楽しむ参加者



女性の会々涼み会 (8/27)

女性の会が主催する夕涼み会が、中央公民館前で行われました。

夕涼み会は、女性の会から地域に元気を届けようと始まったもので、今年で3回目の開催となります。

会場では、浴衣姿の会員が出店や踊りで来場者をもてなし、訪れた来場者も、音に誘われて踊りの輪の中へ入り楽しんでいました。

若狭町女性の会の千田敏子会長（鳥浜）は、「夕涼み会は少しでも地域が活性化したらと思い始まった。楽しんでもらって、みんなに元気を与えられれば」と話していました。



▲ 5 階建ビルの火災防ぎょ訓練



▲横転したバスからけが人を運ぶ
訓練をする消防隊員ら



▲行方不明者搜索訓練を行う
陸上自衛隊員



▲津波を想定した沿岸での
避難訓練



▲海上自衛隊の作業船に乗り、
二次避難訓練を行う区民ら



いざと言う時のために (8/28)

県の総合防災訓練が若狭町の麻生野区と小川区を会場に開催されました。

今回の訓練は、東日本大震災を踏まえ、マグニチュード 7.7 の地震に伴い、2.5 m の高さの津波が到達したと想定され行われたもので、町民をはじめ関係機関などから約 5,400 人が参加しました。

麻生野会場では、横転したバスやトラックから救助する訓練や 5 階建ビルの火災防ぎょ訓練、けがの程度で治療の優先順位をつけるトリアージなど、大災害を想定した実践的な訓練が行われました。

また、小川会場では、津波を想定した高台への避難訓練や、集落が孤立した場合の海上への二次避難訓練などが行われました。

小川区長の松本真人さんは、「若狭湾も東北地方と同じような地形であり、いつ何が起こるかわからない。一人ひとりが防災の意識を持って欲しい」と参加した区民らへ呼びかけていました。



次世代定住について調査 (8/29 ~ 9/3)



▲Uターン者にインタビューする学生たち

若狭町と学術交流協定を結んでいる立命館大学の学生が、町の政策課題について現地調査するインターン生受け入れ事業が行われました。

今回は、まちづくりプランの柱の一つとして掲げている「次世代定住」を政策課題に、同大学政策科学部の学生 12 人が若狭町を訪れました。

学生たちは、グループごとに分かれて、1 ターンや U ターン者などへ定住のきっかけなどをインタビューしたり、町の定住施策について聞き取りを行いました。

同大学では、今回の研究成果をまとめ、町へ提言する予定です。



◀生け花を習う
生徒たち



▲大工さんに脚立作りを習う生徒



地域の達人に学ぼう (9/1 ~ 2, 5)

上中中学校で、選択集中学習「地域の達人による特別授業」が行われました。

この学習は、身近で行われている文化活動などを通じ、生徒たちに豊かな感性をもってもらうとする取り組みで、毎年行われています。

今回、全校生徒が書道や茶道、着付け、生け花、剣舞、木工など 16 コースに分かれて、地域の各分野の達人に 3 日間学びました。

剣舞や和太鼓などは、同校の文化祭で発表するため、初日から早速練習をはじめ、生徒たちは真剣な表情で取り組んでいました。



美味しく育て！ (9/2)

山内区で、伝統野菜の「山内かぶら」の種まきが行われました。

この日は、生産者でつくる「山内かぶらちゃんの会」の代表である飛永悦子さん（山内）らが、畑に種をまきました。

山内かぶらは、ふくいの伝統野菜のひとつで、サクサクとした食感に加え、風味や香りが強いのが特徴で、昨年、約 50 年ぶりに出荷されました。

山内かぶらちゃんの会では、昨年の 2 倍にあたる約 20 アールを栽培し、収穫は、11 月から行うこととしています。



▲種まきをする山内かぶらちゃんの会のメンバー



▲もぎたての梨を
食べる参加者



▶「これ大きい！」と、
好きな梨を選べるのが
梨狩りの魅力



瑞々しい梨はいかが (9/2)

子育て支援センターが開催しているすくすく学級の季節行事として、「梨狩り」が行われました。

梨狩りは、岩屋にある観光梨園で行われ、親子ら 17 人が参加し、旬の味を満喫しました。

瑞々しい梨はとても美味しく、参加した親子は丸ごとガブリと食べ、帰りには、お土産用としてたくさんの梨を手にしていました。

岩屋の梨は、「三方梨」として栽培されており、甘みのあるのが特徴で、8 月下旬から 9 月上旬までが「幸水」、9 月下旬まで「二十世紀」と「豊水」が収穫されます。



▲お祝いを受け取る石田さん（写真右）



ご長寿おめでとう！（9/9～10）

今年、88歳（米寿）、95歳（珍寿）、100歳（百寿）以上を迎える長寿の方へ、森下町長がお祝いを届けました。

お祝いは毎年行われており、今年は107人が対象。うち今年100歳以上となる方が7人となっています。

米寿のお祝いを受け取った石田穰二さん（若王子）に長寿の秘訣を聞くと、「趣味はグラウンドゴルフとゲートボール。また、酢に漬けた大豆を毎日15粒食べるのと、適度な晩酌」と話していました。

“楽しむ”ことが、長生きできる秘訣のひとつなのかもしれませんね。



住居跡を発見！（9/10）

丸木舟が9艘出土した鳥浜のユリ遺跡で、住居跡が発見され、現地説明会が行われました。

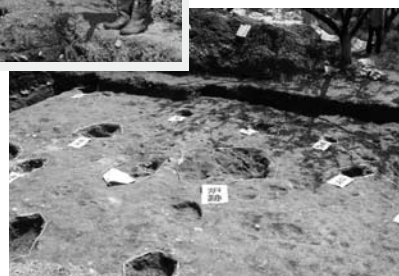
この日は、県内外から歴史愛好者の約50人が参加し、縄文博物館の学芸員から出土した住居跡について説明を聞きました。

今回出土した住居跡は、奥行きが約6m、幅約5mの住居跡で、3～5人が住むと考えられる大きさです。

学芸員の説明によると、ユリ遺跡からは多くの出土品が見つっていますが、住居跡が発見されたのは初めてとのこと。また、住居跡は、今回の1戸だけではない可能性が高く、集落としてのあり方や、その他の遺跡の住居跡との関連なども、今後の調査により明らかになってくるということです。



◀住居跡について説明を受ける参加者



▲住居跡の炉穴と柱穴



男を上げよう（9/13）

中央公民館で、“男マエ”講座が行われました。

この講座は、9月23日～24日に若狭町で開催される婚活イベントへの参加者を対象に行われたもので、今回は15人が講座に参加しました。

この日は、NPO全日本ブライダル協会福井県支部事務局長の内田伸子さんを講師に迎え、笑顔の作り方や、自己紹介のポイントについて学びました。

内田さんは、「挨拶では、55%の表情と38%の感情、7%の声の響きが相手に伝わる。せっかく参加するのであれば、笑顔で女性を迎えて欲しい」と話していました。



▲

「若者パワーで若狭に活力を！」

現在町内では、99軒の民宿が年間を通じて営業されています。しかし、施設の老朽化や後継者不足などにより、年々その数は減少傾向にあります。

これらの課題を若者の目線で検証してもらうため、NPO法人ふるさと回帰支援センターの事業を活用してインターン生を募集し、県外の大学生5名が、8月12日から約10日間、町内の民宿で若女将として配膳や接客を体験していただきました。

民宿業を体験する中で、民宿の持ち味を活かす方法やおもてなし方法、インターネットなどを使ったPR方法などを探り、アイデアや具体的な解決方法の提案をいただくことになっています。

今後、町内の民宿に定期的にインターン生を呼ぶことで、町内に新しい風が吹き込み、集落全体が賑わい、民宿だけでなく農業などあらゆる産業の後継者不足の一助になればと願っています。

また、9月23日から24日にかけて、若狭町を舞台に「婚活」イベントを開催します。

イベントは、県外から独身女性を招き、町内の独身男性と観光地を巡りながら交流する内容となっています。女性の皆さまには若狭町の魅力を十分知っていただき、一組でも多くのカップルが誕生し、定住者が増えることで、若狭に新たな活力が生まれるよう、私も仲人になったつもりでお出迎えさせていただきたいと

思っております。

「若祭」の実行委員会でも地域の若い方たちに、連日連夜、企画運営に携わっていただきました。ひとつの目標に向かって若者が団結する姿に、若狭町の未来を担う若者パワーを大に感じることができました。

集落や地区においても、若者が活躍できる場を積極的に作っていただくことが、地域を思う気持ちの醸成につながり、若者の定住や地域の活性化にもつながっていくものと思っています。

これからも町の元気や活力の源となる若い世代の皆さんの力を存分に発揮していただけるよう、私も全力で応援していきたいと思っています。



携帯でアクセス
メールでも応募してネ

広報クイズ

しいとい
うずまき
クイズ

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つあるオレンジのマスの文字をアルファベット順に並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町企画情報課」（住所は省略可）まで送ってください。電子メールでも受け付けます（kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp）。正解者の中から抽選で5人に図書カードが当たります。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 10月17日（月）必着。

◇キーワード◇

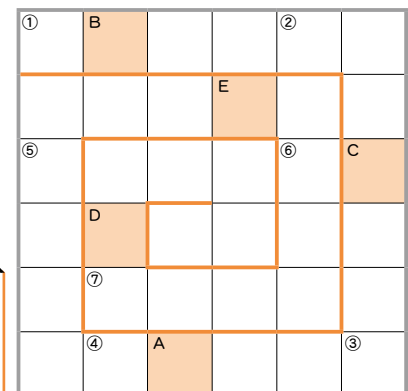
- ①秋の空によくできる雲で、魚の鱗模様をしている雲を何と言う。
- ②あれこれ議論しても何の利益もなく、議論する必要のないことを四字熟語で何と言う。
- ③若狭町にある集落で、梅の生産が多く、また、合併後に名前が河内から変わった集落の名前は？
- ④免許のことを英語で何と言う。
- ⑤江戸時代の小浜藩の医者で、「解体新書」を手がけた人物は？
- ⑥行政機関のひとつで、皇室関係の国家事務を担う機関を何と言う。

【ヒント】

ジャック・オー・ランタンとよばれるカボチャ提灯が飾られます。

《答え》 ○○○○○

- ⑦テニスの四大国際大会のひとつ、全英ローンテニス選手権大会（全英オープン）の開催地である、イギリスのロンドン郊外にある住宅地。



3歳です

HAPPY BIRTHDAY

このコーナーでは、10月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。
今回は平成20年10月生まれの3歳になるお子さまです。



黒石 章矢くん

10月1日生まれ（相田）

親：学・美加さん

動く車とゴーカイヤード好き。
うたを歌えるようになったよ。



山本 隼生くん

10月2日生まれ（朝霧）

親：由和・真澄さん

おしゃべりと歌が大好き。
でも戦いっこが一番好き。



谷口 悠風くん

10月18日生まれ（グリーンパワ）

親：昌史・久美子さん

のぞみ号、はくと号、ゆふ号
ほくら電車兄弟 出発進行！



西村 彩羽ちゃん

10月18日生まれ（鳥浜）

親：勝・美希さん

『九九の1の段』が大好き。
お姉ちゃんと一緒に歌おうね。



深水 心琴ちゃん

10月29日生まれ（三田）

親：道記・美智留さん

やきもちをやいちゃうけど、
弟が大好き！ボールも大好き！



次回は平成20年11月生まれのお子さまが対象です。
写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて企画情報課または上中サービス室へ提出してください（メールでの送付も可）。

10月5日（水）必着です。

●問い合わせ 企画情報課 TEL 45-9110
電子メール
kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp
（受信確認のため、必ずお電話ください）

平成 24 年度

保育所入所児の

申し込みが始まります

子育て情報

町内の各保育所では、平成 24 年度（来年 4 月）から入所を希望されるお子さまの申し込みを開始します。

■入所対象

両親の仕事などの都合により、家庭で保育できない
お子さま

■受け入れ年齢

0 歳～ 5 歳児 … 産休明け（生後 57 日目）からの入所
のほな保育園、梅の里保育園

1 歳～ 5 歳児 … 1 歳児からの入所

みそみ保育所、明倫保育所、中央保育所、気山保育所、
岬保育所、とばっ子保育園、わかば保育園、三宅保育所

■受付期間

10 月 5 日（水）～ 10 月 31 日（月）（土日祝日を除きます）

■申し込み方法

保育所などにある申込書に必要事項を記入し、
入所を希望する保育所、または福祉課子育て支援室へ提出してください。



※年度当初（4 月）からの入所
ではなく、年度途中に入所を
希望する場合も、今回の受付
期間に申し込みください。



●問い合わせ 福祉課子育て支援室 TEL 62-2704

文芸ひろば

冠句

若狭町冠句の会

草紅葉画布転げ出す秋の歌
模様替え野は豊穡の黄金波

福谷 残柿（三田）
小堀ふみ子（鳥浜）

川柳

ほっと川柳

権力も世論の数字気にかかる
正面から斬り込んでくるおんなへん
思い出をタンスに重ねる母の愛
老いた母化粧重ねた嬉しい日

井口 善弘（田井野）
大野 文子（井崎）
田中 文子（堤）
辻本 靖（兼田）

川柳湖畔

短歌

上中短歌会

やうやくに古き住居の重き戸を
音無く開ける技の身につく
手術台の吾に冗談言う医師の
声を聴きつつ意識薄れる

井上 弘子（下夕中）
岡本 久恵（三宅）

かをり歌会

ふくらむを待ちてポンポン弾かしぬ
叱られつつも桔梗のつぼみ
明けきらぬ森の奥より鳴く蟬の
声に目覚めて一日始まる

前田 鈴子（田上）
今井登代子（佐古）

俳句

やよい俳句会

背丈のふ孫の寝顔や蚊やり焚く
瓜割りといふ名水や夏木立
秋高し行者は法螺を天に向け
溪流の音に沿いゆく紅葉狩

山口賀代子（気山）
塚本 汎（飯屋）
宇野 勘大（大鳥羽）
檜鼻 五郎（大鳥羽）

源流・つくし俳句会